

平成26年8月吉日

連携医の皆様へ

東北労災病院地域医療連携室

「第44回宮城県緩和ケア研修会」の開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当院の運営につきまして、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、がん対策基本法に基づきがん対策推進基本計画が策定され、その中で「全てのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが目標として掲げられました。

当院は地域がん診療連携拠点病院としてがん診療を積極的に推進しているところですが、その活動の一環として、緩和ケア研修会を下記のとおり開催することと致しました。

ご多忙とは存じますが御出席下さいますようご案内いたします。

記

- 1 日 時：平成26年9月27日（土）～28日（日）  
8：45～16：50（2日間 計12時間）
- 2 場 所：東北労災看護専門学校体育館
- 3 対 象 者：がん診療に携わる医師、看護師、薬剤師、MSW等
- 4 定 員：36名（医師24名、コメディカル12名）  
なお、申込多数の場合は調整させていただきます
- 5 参 加 費：無料（交通費、昼食代等は自己負担となります）  
当日、当院駐車場は駐車可です。また、売店は（土・日曜日）営業、

レストランは（土曜日）が営業予定です。

- 6 申込〆切：平成26年9月18日（木）正午
- 7 申込方法：別添申込書により0120-772-061までFAXでお申込下さい。
- 8 内 容：別添参照  
2日間の一括受講を基本としますが、各区分ごとに選択しての受講も可能です。（欠席の区分は、次回以降の他院での研修会の受講が必要です）  
当日は、白衣をご持参下さるようお願いいたします。

F A X送信票

東北労災病院 医事課長 尾形 宛

F A X 0 1 2 0 - 7 7 2 - 0 6 1

第 4 4 回宮城県緩和ケア研修会の参加申込書

(ふりがな)

氏名 \_\_\_\_\_ 性別 \_\_\_\_\_

郵便番号 \_\_\_\_\_

住所 (施設・自宅) \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ F A X \_\_\_\_\_

(医師のみ)

施設名・所属 \_\_\_\_\_ 医籍登録番号 \_\_\_\_\_

職種

- ・ 医師 臨床初期研修医 (1年目 2年目)  
研修医以外  
(専門分野あるいは標榜科名 \_\_\_\_\_) (その経験年数 \_\_\_\_\_ 年)
- ・ 歯科医師  
(専門分野あるいは標榜科名 \_\_\_\_\_) (その経験年数 \_\_\_\_\_ 年)
- ・ コメディカル 看護師 薬剤師 MSW その他 ( \_\_\_\_\_ )  
(その経験年数 \_\_\_\_\_ 年)

参加希望日 (区分) 2日間 ・ (A・B・C・D)  
2日間参加しない場合、希望区分に○を付けてください

\*第1回みやぎ地域緩和カンファレンス (9月27日 17:00~17:30) に 出席・欠席  
(チェックをしてください)

\*個人情報につきましては当研修会において使用するものでありその他の目的では使用いたしません

お問い合わせ先

〒981-8563 仙台市青葉区台原4丁目3-21

東北労災病院 医事課長 尾形 電話022-275-1111

第44回宮城県緩和ケア研修会進行表

敬称略・順不同

1日目 平成26年9月27日(土)

区分	分野	内容	備考	プレテスト 及び解説	最低必要 単位	宮城県 設定単位	担当講師	ファシリテータ	時間帯
		開催の挨拶					佐藤克巳(東北労災病院)		8:45-8:50
		オリエンテーション					丹田滋(東北労災病院)		8:50-9:00
A	がん性疼痛緩和(1)	がん性疼痛の機序・評価およびWHO方式がん性疼痛治療法の概略	全人的ケアについても含む	○	0.5単位 (45分)	1単位 (90分)	余宮さのみ(埼玉県立がんセンター)		9:00-10:30
		がん性疼痛の治療法の実際	放射線治療(30分)	○	0.5単位 (45分)	0.5単位 (45分)	坂谷内徹(大崎市民病院)		10:40-11:10
	神経ブロック(30分)		田島つかさ(東北大学病院)					11:10-11:40	
	地域連携・在宅緩和ケア	がん患者の療養場所の選択、地域連携及び在宅緩和ケア			-	0.5単位 (45分)	佐藤隆裕(岡部医院)		11:50-12:35
		昼食・休憩							12:35-13:30
B	疼痛緩和(2)	がん性疼痛に関するワークショップ	ア)グループ演習による症例検討1(がん性疼痛を持つ患者の評価及び治療)	アイスブレーキングあり	2単位 (180分)	2単位 (180分)	司会・進行：田島つかさ	余宮さのみ・佐藤隆裕・今野文博(大崎市立病院)・吉本鉄介(JCHO中京病院)・小笠原鉄郎(宮城県立がんセンター)・清崎雅宣(石巻赤十字病院)・中保利通(東北大学病院)・杉山克郎(みやぎ県南中核病院)・伊藤一美・小田島綾子・丹田滋(東北労災病院)	13:30-16:30
			イ)グループ演習による症例検討2(がん性疼痛に対する治療と処方箋の実際の記載)						
			ウ)ロールプレイングによる医療用麻薬を処方するときの患者への説明の実際						
		1日目のまとめ・連絡				1日目 計4単位			16:30-16:50

2日目 平成26年9月28日(日)

区分	分野	内容	備考	プレテスト 及び解説	最低必要 単位	宮城県 設定単位	担当講師	ファシリテータ	時間帯
		オリエンテーション					丹田滋		8:50-9:00
C	精神症状に対する緩和ケア	不安、抑うつ及びせん妄等		○	0.5単位 (45分)	1単位 (90分)	佐伯俊成(市立三次中央病院)		9:00-10:30
	身体症状に対する緩和ケア	呼吸困難・消化器症状等の身体症状に対する緩和ケア	呼吸困難	○	0.5単位 (45分)	1単位 (90分)	吉本鉄介		10:40-11:25
			消化器症状	○			高橋通規(仙台医療センター)		11:30-12:15
		昼食・休憩 講義		○					12:15-13:10
D	コミュニケーション技術	がん医療におけるコミュニケーション技術についてのワークショップ	ア)グループ討論による患者への悪い知らせの伝え方	アイスブレーキングあり	2単位 (180分)	2単位 (180分)	佐伯俊成(市立三次中央病院)	吉本鉄介・高橋通規・村上雅彦(岩手県立大船渡病院)・進藤百合子(仙台オープン病院)・北山治仁(坂総合病院)・小田島綾子	13:10-16:10
			イ)ロールプレイングによる患者への悪い知らせの伝え方についての演習						
		2日目のまとめ・連絡				2日目 計4単位			16:10-16:30